

# 魅力あふれる、すみだに出掛けよう！

## すみだもの処



すみだが誇る「ものづくりの伝統」と出会う「すみだもの処」を、ぜひ、のぞいてみてくださいね

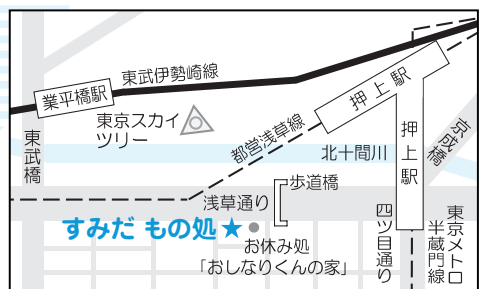
「すみだもの処」は、「ものづくりのまち すみだ」で作られた「すみだブランド認証商品」等を購入できる施設です。また、区内事業者により作られた魅力あふれる品々や、東京スカイツリー関連グッズの展示・販売も行っています。

さらに2階では、随時、企画展を行っています。8月からは「すみだの素材でタワーを作ろう」を開催しており、ワークショップへの参加も随時、受け付けていますので、夏休みの自由研究の一つとして、ご家族でお出掛けください。

催し名	とき	内容・定員・費用・申込み等
すみだの素材でタワーを作ろう	8月1日(月)～9月6日(火) 午前10時～午後6時 *ワークショップへの参加の受付は午後5時半まで	■期間中、直接会場へ ☑すみだもの処 ☎6658-8751 ■区内事業者が自社製品を使って作ったタワーの展示 ■糸巻きの芯の廃材(配材)を使い、東京スカイツリー型の懐中電灯を作る ☎先着300人 ☑1000円 ■温めると形が変わる粘土「おゆまる」でタワーを作る ☎先着500人 ☑600円



「すみだのプロが作るタワー」で本物のタワーと共演！



- [所在地] 業平2-15-5 [営業時間] 午前10時～午後6時 [定休日] 水曜日 [入場料] 無料 [問合せ] すみだもの処 ☎6658-8751

すみだの街歩きに役立つアイテム！

- ▶すみだ街歩きガイド [1000円]
- ▶すみだ観光ガイドマップ [200円]

[問合せ] 墨田区観光協会 ☎5608-6951



## 東京都慰霊堂



横網町公園内にあり、関東大震災や東京大空襲で亡くなった約16万3000人の遺骨が納められている東京都慰霊堂。昭和5年に建てられ、三重塔を従えた寺院風の巨大な建築物は、和風ながら、どこか異国的な印象があります。設計者は、平安神宮や築地本願寺などの設計に携わった伊東忠太氏。堂内では、

伊東氏の建築物の特徴である妖怪のような幻想的な小動物を見ることが出来ます。

また、公園内には、震災からの復興事業を後世に伝えるための「東京都復興記念館」、東京空襲で亡くなった方々の名簿が納められた「東京空襲犠牲者を追悼し平和を祈念する碑」なども設置されています。

- [所在地] 横網2-3-25 [開館時間] 午前9時～午後4時半 [休館日] 12月29日～1月3日 [入場料] 無料 [問合せ] 東京都慰霊協会 ☎3623-1200

両国散策の強い味方！

- ▶両国物語 [200円]
- ▶両国歴史散歩「高札めぐり」 [500円]

[問合せ] 墨田区観光協会 ☎5608-6951



## 旧安田庭園

後に常陸笠間藩主となる本庄宗資が、元禄年間(1688年～1703年)に造った大名庭園です。

中心に「心」の字をかたどった心字池を配し、隅田川の水を引き入れ、潮の干満で池の水位を変化させ景観を楽しむ、潮入回遊式庭園として造られました。現在では、この潮入りが人工的に再現されています。



■第41回納涼の夕べ

[とき] 8月6日(土)・7日(日) 午後4時半～8時半 [内容] 茶席での野点、琴・尺八の演奏、俳句の指導・展示、模擬店、観光コーナーなど [入場料] 無料 [申込み] 当日直接会場へ [問合せ] 墨田区観光協会 ☎5608-6951

## 両国花火資料館

日本の納涼花火大会発祥の地である両国には、都内で唯一の花火資料館があります。ここでは、両国の川開きに始まる江戸の花火の歴史をはじめ、日本の花火技術をビデオや模型で解説しています。尺玉の原寸大模型や打ち上げ筒なども展示されており、その仕組み等は必見の価値があります。

あなたも、花火の歴史や芸術性を学び、今年の隅田川花火大会を一味違った思い出にしてみませんか。



夏休みには、自由研究の材料として多くの子どもたちが訪れます。館内で見られる2尺玉は、迫力満点！

- [所在地] 両国2-10-8 [開館日] ▶7・8月 = 毎日 ▶11月～4月 = 木曜日～土曜日 ▶5・6・9・10月 = 木曜日～日曜日 [開館時間] 正午～午後4時 [入場料] 無料 [問合せ] 墨田区観光協会 ☎5608-6951

東京スカイツリー®が完成時の高さ634mに到達し、全国から注目を集めているすみだ。これからの季節、夏休み等を利用して区内を訪れる方がますます多くなるこ

とでしょう。そこで、遊びに来た親戚や友達などに「すみだの魅力」を伝えるときに役立つよう、2・3面では、すみだの観光スポット等をいくつか紹介します。

## 向島百花園

文化元年(1804年)に、骨董商を営んでいた佐原鞠庵が文人墨客の協力を得て開園した向島百花園。当初は梅が主体でしたが、詩経や古典に詠まれている草花も集め、自然の趣をもつ風流な庭園となりました。

「園内には草木が多く、葉が日陰をつくってくれたり、日光を和らげてくれたりして、真夏でも涼しく過ごせます。言ってみれば、「緑のクーラー」ですね。」そう語る佐原滋元さんは、佐原家の8代目であり、園内

にある「茶亭ささら」の亭主です。「すみだの方は、親戚やお友達が遊びに来たときに、自分の庭のように百花園を訪れます。8月は催しも盛りだくさんですので、ぜひ、皆さんでお越しください。」



- [所在地] 東向島3-18-3 [開館時間] 午前9時～午後5時 \*入園は午後4時半まで [休園日] 12月29日～1月3日 [入場料] ▶中学生以上 = 150円 ▶65歳以上 = 70円 ▶小学生以下 = 無料 [問合せ] 向島百花園サービスセンター ☎3611-8705

向島をより楽しむための一冊！

▶向島文学散歩 [300円]

[問合せ] 墨田区観光協会 ☎5608-6951



## 本所七不思議

いくつも生まれた江戸の七不思議の一つで、浮世絵や落語などの題材となり、怪奇談が大好きな江戸っ子の人気を集めました。本所七不思議としての体裁が整ったのは、寛政年間(1789年～1801年)と考えられていますが、内容や構成が異なる伝承もあり、不思議の数は七つ以上あります。この七不思議のレリーフが、大横川親水公園(横川橋と紅葉橋の間、本所四丁目側)にあります。



【本所七不思議の一つ「足洗い屋敷」のレリーフ】 丑三つ時、旗本の屋敷の天井から大きな男の血だらけの足が現れ、「足を洗え！足を洗え！」と怒鳴ったという

■資料展「本所七不思議と墨田の怪談文学」

[とき] 8月7日(日)までの午前9時～午後8時 \*日・月曜日は午後5時まで

[ところ] 緑図書館(緑2-24-5) [入場料] 無料 [申込み] 期間中、直接会場へ [問合せ] 緑図書館 ☎3631-4621



## 置いてけ堀

釣りの帰り、どこからともなく「おいてけー、おいてけー」という声が聞こえ、無視すると金縛りにあった。家に帰って魚籠を見ると、中の魚が1匹もいなくなっていたという。



「みんなを脅かしたのは僕さ」と言わんばかりの「かっぱ像」

声の主は河童だという説にちなみ、置いてけ堀があったと推定される場所の一つ、錦糸堀公園(江東橋4-17-1)には「かっぱ像」があります。

## すみだゆかりの展示

江戸時代、8代将軍・徳川吉宗によって、庶民の憩いの場として整備された墨堤。この墨堤で散策や河川交通の目印となっていた石は、今では、すみだの貴重な文化財です。

錦絵に多く描かれ、人々に親しまれてきた墨堤の石造物をパネルで紹介します。すみだの歴史の豊かさに触れてみませんか。

### ■すみだの歴史を彩る石たち

▶パネル展示

[とき] 8月2日(火)～22日(月) 午前8時半～午後5時 [ところ] 区役所1階アトリウム [入場料] 無料 [申込み] 期間中、直接会場へ

▶講演会「墨堤の碑林 すみだ石碑調査秘話」

[とき] 8月8日(月) 午後2時～3時半 [ところ] 区役所会議室123(12階) [定員] 先着30人 [費用] 無料 [申込み] 8月2日から電話で生涯学習課文化財担当 ☎5608-6310へ



## 片葉の葦

本所横網町の留蔵という男が、亀沢町のお駒という娘に思いを寄せていたが、冷たくあしらわれた。これを恨んだ留蔵は、両国橋の北にあった駒留橋でお駒を殺し、片手・片足を切り取った姿で川に打ち捨てた。すると、この辺りに生える葦は片側しか葉をつけなくなったという。